

諫早市教育委員会会議録

平成27年第1回（1月定例）

平成27年第1回（1月定例）教育委員会

- 1 日 時 平成27年1月21日（水） 14時00分～14時30分
- 2 場 所 諫早市役所 8階 会議室8-3
- 3 出席者 委員長 大石 竜基
委 員 緒方 正親
委 員 秀島 はるみ
委 員 宮本 峻光
教育長 平野 博
- 4 会議に出席した事務職員
教育次長 石橋 直子
教育総務課長 川本 正博
学校教育課長 江口 武
生涯学習課長 西尾 和弘
- 5 議題
教育長の報告
議案第1号 諫早市社会教育委員の委嘱について
議案第2号 諫早市公民館運営審議会委員の委嘱について

会議録署名人の指名

平野教育長と大石委員長を会議録署名人に指名

議事の非公開

議案第1号及び議案第2号は人事案件であるため非公開

会議録の承認

- 平成26年第14回（12月定例）教育委員会の会議録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

1 教育長の報告

- インフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖について
今月8日から3学期や新年の授業が開始したが、先週からインフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖が急増している。
昨年末からの今シーズンで13小中学校、幼稚園において22件の学級又は学年閉鎖による臨時休業が措置された。いずれも学校医、園医と連携の上の措置である。引き続き校医と連携を取り、早期の対応について学校対応の徹底を図りたい。
- 平成27年度予算編成について
現在、平成27年度予算編成の大詰めを迎えるところである。
学校耐震化整備、老朽改修工事や学力向上対策をはじめ通常教育振興のための相談員、補助員等の人件費等について、国における学校施設予算の見直しや合併から10年を経過し普通交付税を上乗せする特例措置が縮減されることから多くの課題を指摘されている。非常に厳しい状況である。努力したい。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

小学校、中学校、幼稚園において、インフルエンザによる学級閉鎖を実施する要件に違いがあるのか。

[教育長]

学級閉鎖は、各学校長が校医に相談し、感染状況などを考慮して決定しているため、明確な基準は設けていない。これまでの状況を平均すると在籍者数に対する罹患者数の割合が、30%から40%の罹患状況で閉鎖している。少ないところでは、今回、諫早中学校では23%、諫早小学校では24%であったが、兄弟などからの感染などを考慮して学校が決定したものである。

[学校教育課長]

文部科学省においては、インフルエンザの場合、発症から5日を経過し、かつ小中学生は熱が下がってから2日、幼児は3日出席停止すると示されている。

[委員]

何年か前の新型インフルエンザの時の対応と違っているようだが、緊急性が低いということか。

[教育長]

新型インフルエンザの時は、その対応について全国的にパニック寸前であった。それらの経験を経ての判断を行っている。全て学校医と相談しての対応である。

[委員]

医師会では、2割を超えたら学校長と学級閉鎖・学年閉鎖を検討することとしている。今は抗ウイルス薬の予防投与が保険で認められている。タミフルなどによる異常行動は、抗ウイルス薬と関係があるわけではなく、学会の見解ではインフルエンザ脳炎による副作用であるとされている。

2 教育次長の報告 なし

議 事 の 概 要

《学校教育課長の報告》

- 浜教育文化賞・栗林スポーツ賞表彰式について
- インフルエンザ対策について

《非公開議事》

- 1 議案第1号 諫早市社会教育委員の委嘱について
生涯学習課長説明
削除
原案どおり可決
- 2 議案第2号 諫早市公民館運営審議会委員の委嘱について
生涯学習課長説明
削除
原案どおり可決

その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

14時30分閉会